

●宇美町立原田小学校（原田三丁目一番一号）



原田小学校は、大正八年（一九一九）四月に宇美第三尋常小学校として開校しました。昭和三年四月、宇美尋常高等小学校原田分教場を経て、同九年四月に原田尋常小学校となりました。さらに、

同十六年四月、国民学校令により原田国民学校と改称、終戦後、同二十二年四月に宇美町立原田小学校と改称されました。

その後、校舎の老朽化や人口減少などから原田小学校と神武原小学校を統合し、宇美東小学校を設立することになり閉校となりました。昭和四十六年度から四十七年度までは宇美東小学校原田分教場として授業を行ってきましたが、同四十八年三月に分教場も閉鎖となりました。

同五十六年四月、校区の人口増加などに伴い、再び原田小学校として児童数四六九人（一三学級、うち特別支援一学級）で



写10-104 原田小学校

開校しました。翌年一月には新しい校歌が完成し、県警音楽隊を招き、校歌発表会が開かれています。

平成三年には児童数の増加に伴い、校舎棟の増築工事が行われました。

令和二年五月一日現在、児童数は四七一人、学級数は二二学級（うち特別支援七学級、児童数四六人）となっています。



写10-105 原田尋常小学校（昭和9年頃）



写10-106 登校風景

宇美町立原田小学校 校歌

作詞：島居 信久  
作曲：八波 正武

一、  
明けゆく宝満 三郡の  
山のすがたの やさしさよ  
学びの窓に 仰ぎ見て  
笑顔あかるく たくましく  
希望に燃えて 進むのは  
おお 原田 原田 原田小学校  
せせらぎ渡る 橋の道  
山道 坂道 まちの道  
仲よしみんなの 通るみち  
このふるさとに はつらつと  
若葉のいのち 伸ばすのは  
おお 原田 原田 原田小学校  
はるかに海は かすむとも  
粕屋のみなみ 雲暗れて  
花咲く校庭に つどう声  
ひびきは清く 高らかに  
日本の明日を 歌うのは  
おお 原田 原田 原田小学校



写10-107 原田小学校（昭和56年）